

銀賞

水のむだ使いをなくそう

柳 颯

小郡市立御原小学校

みなさんの中に、水をむだ使いしている人は、いませんか。

ぼくは、福童浄化センターに見学に行つて初めて、自分が水のむだ使いをしていたことに気づきました。見学では、ぼくたちが使つた水のゆくえについてくわしく教えていただきました。まずは、そのことについて説明します。

家庭や学校で使われた水は、下水管を通り、ポンプ場へ行きます。ここでは、流れてきたお水をくみあげ、こう配をつけて流します。次に、ちんさ池で大きなゴミや土砂をとりのぞいてから最初ちんどん池へ行き、お水をゆるやかに流して、小さなゴミやどろをしずめます。次に、反応タンクでび生物を入れ、空気をふきこんでよごれをしずめやすくします。その後、最終ちんどん池で重くなつてしずんだお水と水に分けます。おでいは、おでいしよ理しせつに行き、ひ料やコンクリートの材料になります。一方、しよ理された水は消どくせつびで消どくされ、最後に、川や海に流せるか検査をしてから放流します。

ぼくは、こんなに時間と手間をかけて水をきれいにしていることを知り、今まで水をむだに使つていたことを後かいました。

また、下水道は何万メートルも続いていることが分かりました。下水道がないと水がきたなくなり、くさいにおいがするそうです。下水道の大切さが分かりました。

ぼくは、よごれを食べてくれるび生物にもきょう味をもちました。

けんび鏡でび生物を見せてもらったとき、こんな小さな生物がよごれを食べているなんて不思議だなあと思いました。ちようどよごれを食べている様子も見ることができました。ちよつと気もち悪いなあと思つたけど、水をきれいにするには大切なそんざいだと分かりました。

他にも、きれいになつた水は、新かん線の洗車にも使われていることを知りました。川や海に流すだけではなく、しよりした水を使う工夫もあることを知り、なるほどなあと思いました。

見学を通して、水もおでいもリサイクルされていることが分かりました。水は、ぼくたちの生活にはなくてはならない大切なものです。

ぼくは、これから水のむだ使いをやめます。以前ぼくは、おふろのじゃ口をしつかりしめていなくて、長時間出しっぱなしにしてしまつたことがあります。反省です。これからは、じゃ口は最後までしつかりしめます。それと食べ残しや油ははい水こうには流さないようにします。

最後に、水をきれいにするために、二十四時間体せいで働いてくださっている浄化センターの人たちに感しやの気持ちを伝えたいです。いつも、ありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。